

# 農業所得の増大へ 産地の力を強化

なまはげ アグリ エール プロジェクト

## NAMAHAGE AGRI YELL PROJECT **ネギ**

JA秋田なまはげでは、今年度から「NAMAHAGE AGRI YELL PROJECT(なまはげアグリエールプロジェクト)」を始めました。プロジェクトの最大の目的は、“生産者の農業所得のさらなる増大”。そのために、農産物の栽培から出荷、流通体制や販売促進などあらゆる面で、既存の概念にとらわれない視点で見直しながら、JA全体で生産者への支援や産地育成を進めています。

ネギは、管内各地で基盤整備や法人化に伴って作付けが年々増加しており、今後も栽培が増えていくことから、生産量の安定化や品質の向上などが農業所得の増加に向けた課題となっています。JAでは生産者との情報共有や巡回指導を徹底し、計画出荷などによる販売力の強化に取り組んでいます。

### 8月中旬～11月下旬出荷

## 県外への計画出荷の強化

当JAでは秋田市場に加えて、県外2か所(横浜丸中青果、JA全農神奈川青果センター)にもネギを出荷しています。県外へは8月から11月にかけて、14戸の生産者が出荷。生産者や市場と連携を密にしながら、計画的かつ高品質なネギの出荷に取り組むことで、前年度を上回る単価や販売金額を達成しました。



[ 県外への出荷実績(8月～11月) ]

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(前年度比)
等級	A・B品	A・B品	A・B品	A品
出荷量(t)	108	92	182	131 (71.9%)
平均単価(円/kg)	253	250	225	324(144.0%)
販売金額(千円)	27,385	23,084	41,158	42,642(103.6%)

令和3年度までのA品B品混ざりの出荷規格を見直し、出荷形態をコンテナから段ボールに切り替えたほか、生産者へ日量出荷計画表を策定。

→曲がりなどがあつた品質が向上し、A品の段ボール出荷の量を安定して確保。

→出荷量は減少したものの、**単価が大幅に向上し、販売金額も増加!**

**計画的・高品質な出荷を徹底することで、有利販売や産地の評価の向上に繋がりました。**

### 県外出荷に向けた作業の様子

- 1 (農)アグリあいかわ
- 2 柴田 樹さん
- 3 (有)まこと農産
- 4 小林 久光さん
- 5 (農)笠岡ファーム
- 6 (農)よもみ
- 7 (農)ファーム北野

